

ごあいさつ

2021年4月より2年間、さゆり会会長を勤めさせていただいております大竹美登利と申します。

今夏は昨年に引き続き、記録的な酷暑や長雨など、観測史を塗り変える異常気象が続いております。また、新型コロナウイルス感染も拡大し、感染者過去最高を更新している第7波も到来しており、学校現場でも、調理実習の制限をはじめ、家庭科の学習に大きな影響を及ぼしています。緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置こそ発出されないものの、各自でのコロナ対策にゆだねられ、私たちの生活様式が問われているところです。

コロナ感染拡大に伴って、日本の学校ではタブレットが子どもたちに配布され、急速にIT化が進みました。大学でも登校できずに、オンラインでの授業実施を強制されました。生徒や学生の自宅での環境が整わなかったり、教員のIT知識、技量不足で、現場は大混乱しましたが、3年近く経とうとしている現在では、児童・生徒、学生の対応力はすばらしく、どんどん進化しており、教員もついて行かなければならない状況になっています。

日常生活もIT化が進んでいますね。スーパーの買い物の支払いはセルフレジが当たり前になり、店員とのお金のやりとりがなくなりました。最近はさらにスマートレジが普及しはじめ、かごに入れるときにすでに決済情報を読み取り支払いだけを行えば良かったり、レジロボでかごに入れるだけで決済が出来るものなどが登場し、私も含め高齢者はあたふたしています。学生に聞くと、レジで高齢者が自分の前にいるとちょっと損した気分になり、なぜピッとするだけで支払えるカード使わないの？とイライラしているようです。若者の買い物はお店に行かず、ネット購入が中心になっているようです。IT化の普及が日常生活を一変させている現象ですね。家庭科でその良さと問題点をどのように教えるかも頭の痛いところです。

急速に変化する社会のしくみにあわせて、今年度のさゆり会の総会、講演会、懇談会は、ご案内にありますように、webと対面の両方で行うハイブリッド開催という新しい方式を試みることにいたしました。

大学祭ならびにホームカミングディを来校方式で実施することを大学が決めたとの情報を得、さゆり会も3年ぶりで来場型で行えると喜びました。しかしすぐに感染が拡大し始め、今後、全面的な来場方式で行えないかもしれないとの予測も有り、来場方式でなくても実施できるwebによる開催も取り入れたハイブリッド方式で開催する決断をしました。第7波の到来をみるとこの決断は間違っていなかったと思っています。

Webに慣れない方、久しぶりで大学を訪問したい方にむけ、人数に制限はありますが、来校型の実施を致します。しかし、人数制限があるため、webによる配信でご参加いただけるようにも致しました。感染がさらに拡大し来校型中止になる場合にも対応できますし、もしかして遠方でこれまで参加したくても出来なかった会員の皆様にもwebならご参加いただける良さもあるのではないかと考えました。この方式がうまくいきますと、今後の新しいさゆり会開催方式として定着するかもしれません。是非多数の皆様のご参加をお待ちしております。

対面での交流は十分できませんが、さゆり会HP (<http://www.u-gakugei.ac.jp/~sayuri/>) をバージョンアップし、さゆり会のこれまでの歩みをたどれるようにしたり、FaceBook (@sayuri.tgu) で求人情報をはじめ様々な情報を発信し、新たな交流の場をつくっているところです。是非皆様からご活動の様子をお寄せいただき、さらにバージョンアップした交流を図ってきたいと考えています。

なお、私の会長任期1期2年が2023年3月で終了いたします。コロナ禍で対面でお目にかかれる機会が無いままに任期を終えますが、皆様のご協力により、なんとか活動を継続することが出来ました。次の新役員も先鋭揃いで、さゆり会をさらに発展させて下さるものと確信しております。今後ともよろしく願いいたします。

2022 年度総会資料

以下の総会資料をご送付申し上げますので、ご意見、ご質問等を 10 月末日までに、さゆり会メール (E-mail sayuri@u-gakugei.ac.jp) へご連絡ください。それらを踏まえて、11 月 5 日の総会で議決させていただきます。

1. 審議事項

議事 1 2021 年度事業報告 (資料 1)

議事 2 2021 年度会計決算報告および 2022 年度、2023 年度予算案 (資料 2)
監査報告

議事 3 2022 年度「さゆり会」講演会懇親会等のハイブリッド方式による開催

2020 年度の実行委員会メンバーは、2020 年度、2021 年度の開催も見送られたことから、2022 年度開催の講演会懇親会等の実行委員を担当してもらう。以後、順番は 2 年ずつ後にずれる。(参考資料)

会計監査は当年の実行委員から 2 人選出をお願いしていた。2022 年の実行委員会は 2020 年度の実行委員会と同じ方々に担当していただくため、2022 年度の会計監査も 2020 年度会計監査と同じ方をお願いすることにする。

議事 4 2022 年度事業計画 (資料 3)

議事 5 新役員の承認 (資料 4)

資料 1 2021 年度 事業報告 (2021 年 4 月～2022 年 3 月)

- ホームカミングディ中止に伴い、さゆり会の講演会懇親会等も開催せず。
- 交流会実行委員会：講演会懇親会等の不開催に伴い、委員会は開催せず。
- 幹事会：資料送付しメールで意見徴収し、開催に代えた。
- 総会：資料送付しメールで意見徴収し、開催に代えた。

資料 2 2021 年度決算報告および 2022 年度・2023 年度予算 (案)

単位：円									
		2021 年度			2022 年度(見通し)		2023 年度(見通し)		
		(2021 年 4 月～2022 年 3 月)			(2022 年 4 月～2023 年 3 月)		(2023 年 4 月～2024 年 3 月)		
費 目		予 算	決 算	差 引	備 考	予 算	備 考	予 算	備 考
収入の部	同窓会費	26,000	29,000	3,000	1,000 (円) × 29 (名)	30,000	1,000 (円) × 30 (名)	30,000	1,000 (円) × 30 (名)
	寄付金	0	0	0		0		0	
	預金利子	2	2	0		2		2	
	その他	0	0	0		0		0	
	小 計	26,002	29,002	3,000		30,002		30,002	
	前年度繰入金	198,746	198,746	0		186,161		86,163	
特別会計引出	0	0	0		0		0		
合 計	224,748	227,748	3,000		216,163		116,165		
支出の部	印刷費	10,000	2,463	7,537		20,000		20,000	
	交流会へ補助	20,000	0	20,000		20,000		20,000	
	総会案内発送事務	40,000	15,780	24,220	発送作業	40,000	発送作業	40,000	発送作業
	通信費	20,000	15,124	4,876		20,000		20,000	
	事務費	5,000	8,220	-3,220	HP更新	5,000		5,000	
	会議費	5,000	0	5,000	幹事会等	5,000	幹事会等	5,000	幹事会等
	予備費	20,000	0	20,000		20,000		20,000	
	小 計	120,000	41,587	78,413		130,000		130,000	
次年度繰越金	104,748	186,161	81,413		86,163		-13,835		
合 計	224,748	227,748	-3,000		216,163		116,165		
特別会計 (支援金)									
単位：円									
以上のとおり、2021 年度の決算を報告いたします。									
	2021 年度	2022 年度	2023 年度			2022 年 月 日	財務担当	池崎喜美恵 西岡里奈	
	287,000	287,000	287,000						
	0	0	0						
	287,000	287,000	287,000						
会計監査の結果、相違ないことを報告いたします。									
2022 年 月 日 会計監査 河野 久美子® 寺井 久代®									

資料3 2022年度事業計画案（2022年4月～2023年3月）

1. ホームカミングディ開催に伴い、さゆり会総会、講演会、交流懇談をハイブリッド開催

日時：2022年11月5日（土）12:30～14:45

会場：ハイブリッド開催（Zoomによるオンライン・一部来校方式）

東京学芸大学西3号館602室（総会・講演会、交流懇談）

時程

第1部 総会 12:30～12:50

第2部 講演会 13:00～14:00

講師 大竹 道茂先生

演題 「江戸東京野菜の物語と栽培事例」

第3部 交流懇談 14:00～14:45

参加費：無料

2. 役員会：メールならびにオンラインで協議

三役会 オンライン開催（7月5日、8月17日）

役員会 オンライン開催（9月4日）

3. 幹事会：資料送付しメールで意見徴収 9月10日発送

4. さゆり会 情報発信

*HP (<http://www.u-gakugei.ac.jp/~sayuri/>) を最新の情報に修正した。

*FaceBook (@sayuri.tgu) で求人情報をはじめ様々な情報を発信する。

5. さゆり会の運営に関する会長のあいさつ文を、交流会案内に同封する。

6. 募金活動の継続

7. 家庭科の発展に向け、生活科学講座と連携し、学生の支援を推進する

8. さゆり会、交流会実行委員会 講演会講師決め等でオンライン協議、メールでの審議。

・第1回 実行委員会引き継ぎ（S50年度卒ならびにS51年度卒） 2019年11月2日（土）

・三役会に参加 2022年7月5日、8月17日

・役員会に参加 2022年9月4日

・幹事会メンバーに企画を送付し承認を得る 2022年9月10日（土）

・交流会お知らせの印刷 2022年10月1日頃

・交流会お知らせの発送作業（実行委員長およびアルバイト依頼） 2022年10月1～10日（土）

・第2回（前日準備）（S51年度卒、S52年度卒） 2022年11月5日（土）午前

・第3回（引き継ぎ）（S51年度卒、S52年度卒、会長）2022年11月5日（土）さゆり会終了後

資料4 2023年度新役員提案（2023年4月～2025年3月）

2023年・2024年度役員	
会長	佐藤麻子
副会長	家庭科教室主任、阿部睦子、湯通堂由加里
書記	栗原智美 菊地英明
財務	西岡里奈 中俣由紀
総務	伊藤江里子 高橋真理子 橋本英明 富永弥生
会計監査	前年実行委員2名 昨年から継続（河野久美子、寺井久代）
顧問	鳴海多恵子、大竹美登利
実行委員会	（委員長）昭和51年度 佐藤麻子 （協力幹事）昭和52年度（新井映子・蜷川高子）

参考

2021年・2022年度役員	
会 長	大竹美登利
副会長	家庭科教室主任、佐藤麻子、湯通堂由加里
書 記	栞原智美 阿部睦子
財 務	池崎喜美恵 西岡里奈
総 務	伊藤江里子 高橋真理子 橋本英明 富永弥生 菊地英明
会計監査	前年実行委員 2名 昨年から継続 (河野久美子、寺井久代)
顧 問	鳴海多恵子
実行委員会	(委員長) 昭和 51 年度 佐藤麻子 (協力幹事) 昭和 52 年度 (新井映子・蜷川高子)

参考資料 実行委員会年度一覧 2021年9月現在

開催年	実施年月日	当番幹事(正)		協力幹事(副)		協力補佐幹事	
		卒業年度	実行委員長	卒業年度	まとめ役	卒業年度	まとめ役
2006年	・平成18年度(H.18.11.3 終了)	「正」36年度	(藤本夏子)	「副」41年度	田上和子(実質中心)		
2007年	・平成19年度(H.19.11.3 終了)	「正」37年度	(高野親代)				
2008年	・平成20年度(H.20.11.1 終了)	「正」38年度	(川口澄子)	「副」43年度	(金子万里子)		
2009年	・平成21年度(H.21.11.6 終了)	「正」39年度	(藤原由比子)	「副」44年度	(石田悦代)		
2010年	・平成22年度(H.22.11.20 終了)	「正」40年度	(坂口志津子)	「副」45年度	(長尾和子)		
2011年	・平成23年度(H.23.11.5 終了)	「正」46年度	(青木枝美子)	「副」41年度	(田上和子)		
2012年	・平成24年度(H.24.11.24 終了)	「正」42年度	(中村道子)	「副」47年度	(石川佳子)	43年度	(金子万里子)
2013年	・平成25年度(H.25.11.2 終了)	「正」43年度	(金子万里子)	「副」48年度	(磯山由紀子)	44年度	(佐々木和子)
2014年	・平成26年度(H.26.11.1 終了)	「正」44年度	(佐々木和子)	「副」49年度	(円谷加陽子)	45年度	(鳴海多恵子)
2015年	・平成27年度(H.27.11.2 終了)	「正」45年度	(鳴海多恵子)	「副」50年度	(飯川由美子)	47年度	(石川佳子)
2016年	・平成28年度(H.28.11.5 終了)	「正」47年度	(大竹美登利)	「副」48年度	(磯山由紀子)		
2017年	・平成29年度(H.29.11.4 終了)	「正」48年度	(磯山由紀子)	「副」49年度	(円谷加陽子)		
2018年	・平成30年度(H.30.11.3 終了)	昭和49年度	寺江弘子	昭和50年度	伊藤江里子		
2019年	・令和元年度(R.1.11.2 終了)	昭和50年度	伊藤江里子	昭和51年度	佐藤麻子		
2020年	・令和2年度 中止	昭和51年度	佐藤麻子	昭和52年度	(新井映子・蜷川高子)		
2021年	・令和3年度 中止	昭和51年度	佐藤麻子	昭和52年度	(新井映子・蜷川高子)		
2022年		昭和51年度	佐藤麻子	昭和52年度	(新井映子・蜷川高子)		
2023年		昭和52年度	(新井映子・蜷川高子)	昭和53年度	(島田美佐江・阿部睦子)		
2024年		昭和53年度	(島田美佐江・阿部睦子)	昭和54年度	(柴田美佐子・山田淳子)		
2025年		昭和54年度	(柴田美佐子・山田淳子)	昭和55年度	(蛭田満里・竹内茂子)		
2026年		昭和55年度	(蛭田満里・竹内茂子)	昭和56年度	(木田智子・鈴木実穂)		
2027年		昭和56年度	(木田智子・鈴木実穂)	昭和57年度	(猪俣直子・宮崎美晴)		
2028年		昭和57年度	(猪俣直子・宮崎美晴)	昭和58年度	(増淵哲子・大澤美由紀)		

※実行委員長(案)は、幹事名をいれています。変更がある場合は事務局にお知らせください。

昭和36年度卒から順送りとする(平成18年度より実施) 但し、平成18年度に昭和41年度卒が実質の実行委員であったため、以後調整された。
「副」補佐協力年度 当初は当番年度の5年下の年度卒が、現在は当番年度の次年度卒が担当